

## 【22\_333思考系メルマガ】膨大な経験量から磨かれる『直感力』

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回のテーマは、今まさに僕自身も磨いている最中の課題でもあるので  
まだまだこれから考え方としてもアップデートされていくものになりますが  
現時点で僕が考える『センス』とは何か？という話になります。

この話をまとめようと思ったきっかけは、ある方のアンケートを読んだことです。

▼質問はコチラ▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-11-30.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-11-30.png)

▼元のツイートはコチラ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1590527297068871680>



■ 『直感力(センス)』は、磨く事が出来る

『直感力』というと、「持って生まれた人にしかないもの」と思われることが多いですが

そもそも直感(センス)というものは、人間が誰でもある程度持っている『感覚的素養』を指すものであると考えています。

従って「感覚」を携えていない人間などいない以上、持っている感覚を『磨いて使いこなす』事はできるわけです。

では、トレードにおいてはどう身につければいいのか？

それを140字にまとめた僕の考えが、上記のツイートになります。

スポーツなどもそうですが、教えてもらった手順をなぞったからといって

すぐ熟練者と同じような動きを再現できる人は、まずいませんよね。

言語化された動作をなぞって、ぎこちない動きでもマネるところからスタートし

徐々に意識しながら取っていた動作が無意識にできるようになる(これが、『感覚』を身につける段階)。

そして、理論と感覚が結びつく頃には、それなりの動作が取れるようになり

それまで意識できなかったことに、自分の意識を向ける余裕が出てくる(視野が広がる)。

このようにして、ひとつの物事は学習を経て上達していきます。

トレードに当てはめて考えてみれば、最初は水平線を引いたり、プライスとMAの位置関係を確認して

目線を決める分析をやろうとしても、どこかに認識の「ヌケ・モレ」があったりするし

実際にトレードしてみても、自分は手順通りにやったつもりなのに結果を見れば

「何で私、こんなところでトレードしていたんだろう？」なんてことにもなりがちです。

それは、まだ手順通りの理屈をなぞるのに精一杯で、自分の『感覚』が追いついていない状態だからです。

この段階で、直観力がどーのとか、やれセンスがあーだこーだ、メンタルが・・・

などという議論は一切意味がありません。だって、その段階に至る以前の問題ですから。

直感・センスの前に、先ず『圧倒的な量の検証母数』で基本動作(フォーム)を身につけること。

そして、それをベースに実際にトレードした時に生じた「疑問・仮説・不安要素」をとにかく細かく言語化していく。

そして、それらの要素一つ一つに対して、『徹底的な検証で確率数値を割り出す事』で疑問、不安を解消する。(必要ならルールに組み込む)

この作業を繰り返し徹底する、という目的をもってひたすらチャートを見続けて行くうちに  
気が付くと、その人にだから見える『直感・センス』が身についてきます。

僕もこれが欲しいから、毎日チャートを見るし、テーマを見つけては100、200と母数を集めて検証を行うわけです。

人によっては、決して「楽しい」と思える作業ではないかもしれません。

なんなら、チャートを見るのが苦痛になることもあると思います。

ですが最近僕は、トレードして損切りになったり チャートを見ていて疑問が生じるというのは  
相場が僕に『成長・進化のための材料』を提供してくれているのだと考えるようにしています。

型通りにやったトレードが損切りだった時は、それを考えるための授業料を先払いしたのだと。  
(一貫してなければ無駄金ですけどね)

そう考えると、相場は僕らに対して何の感情も持っていないというのが事実ではあるものの

決して僕らトレーダーに悪意・敵意も無く、ただ僕らがいずれ相場から膨大な資金をもたらしてくれるように

(向こうはそんな意識もなく)教育してくれているのだと理解する事もできます。

そんな思考で日々、筋の通った取り組みを続けていけば、気付いた時には唯一無二の直観力が  
身に付き

トレード自体も苦痛なものではなくなっていくのではないかと思います。

僕もまだまだ完全にこの域には辿り着けていませんが、今日もそんな意識を大事にして

丁寧にチャートと向き合っていきます。